

2021 年度 2 学期終了時学校だより

### 制服を着用することの意味について

校長 皆川 勝

学校の生徒が制服を着用することの意味を考えてみたいと思います。着用の意義は、学校の組織の一員としての自覚・誇りを持つこと、連帯感・規律心を醸成すること、他の学校の生徒と区別することなどが挙げられます。一方、学校における制服には、貧富の差なく、同じ場所で同じものを多くの人が学んでいることの象徴としての意義も持っています。華やかな服装による非行を防止する効果、服装を競う金銭的・感情的な負担を軽減する効果もあると思います。特に校外での着用は、「他の学校の生徒と区別すること」の意義が最も重要だと思います。

生徒の皆さんは、通学時に制服を着用することで、本校の生徒であるという個人情報自ら開示しています。したがって、生徒の皆さんの制服の着用の在り様は、学校の在り様を映し出していることとなります。ルールから逸脱した、あるいは乱れた制服着用は、そのことにより学校の在り様の乱れとして公に認識されます。また、制服を着用して社会的な規範を逸脱した行為は学校の一員としての無責任な行為となり、それに関わる方にご迷惑をおかけするばかりでなく、学校の他の生徒や教職員の名誉をも傷つける行為となります。

制服以外のどのような服装であれ、公共の場での行動は、私たちの社会が受け入れている共通の規範に沿っていなければなりません。特に制服を着用している通学時には、さらに学校という組織の一員であるという自覚と責任を忘れないよう、強くお願いをします。

本校の校訓には、自主と遵法があります。自主は自律につながります。すなわち、自らを律すること、自分の考えで法やルールを遵守することを校訓は述べています。反対の概念は他律です。他者から強制されることです。制服着用ルールや着用時の行動規制についても、怒られたくないからと他律的になるのではなく、自律的に実践されることを願います。

ヴィクトール・フランクルは、「どのような状況になろうとも、人間にはひとつだけ自由が残されている。それはどう行動するかという選択の自由だ。」と言っています。ぜひ、皆さんひとりひとりが、自分の自由な意思によって適切な行動を選択することを願っています。

以 上